

浦山ダムガイドマップ

いくつかの施設を見つけられるかな？

防災資料館うららびあ

ここではダムについての勉強ができます。

ダム管理所

ダムの操作や監視するための設備があります。

水質観測装置

ダムの水質を確認する装置。

曝気設備

水深20m付近から気泡を出してダム湖の水をかき回して水質を良くする設備。水質観測装置の奥に見える銀色の浮きの下にあります。

網場

上流から流れてきた流木やゴミなどをダムに近づかせないための設備です。

清水バイパス



ダムの湖畔に沿って見える黒いパイプ。上流からきれいな水を運んでくるために使います。

非常用洪水吐き

100年に一度の確率を超えるような猛烈な雨が降ったとき、ここから放流します。

秩父さくら湖

上空から見ると、縦長の形をしています。湖は上流に6km続いています。

天端

ダムの一番上の部分。下流から見ると、荒川にかかる旧秩父橋をモチーフにしたデザインが見えます。

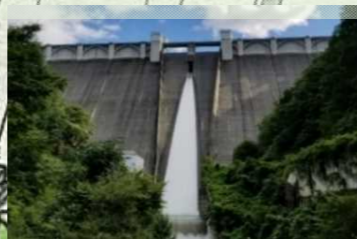


選択取水設備

水を取る高さ(深さ)を変える施設。下流の環境に適した水温や濁度などを選んで放流できます。

常用洪水吐き

防災操作のときは、この穴から放流します。



堤体エレベータ

ここからエレベータに乗って堤体の中に入ることができます。

左岸休憩所



堤体

高さ156m、幅372mで、約175万㎡のコンクリートで造られています。

フーチング

ダムと地盤とのつながりを強くするための施設。点検用に階段をつけています。約500段あって、自由に上り下りでき、片道20分くらいかかります。

利水放流設備

ダムから少量の放流をする場合に使う設備。大きい穴を主管、小さい穴を分岐管といいます。



浦山発電所

東京発電(株)がダムの水を使って発電しています。

ダムの内部

ダムのたわみを計測するプラムラインや、ダムができるまでの歴史を見ることができます。内部の気温は年間を通じて一定です。



下流広場

ここから堤体を見上げると、その大きさを実感できます。※下流広場にドイレはありません



減勢池

放流した水の勢いを抑えるための池。

見学記念スタンプ

